

入学定員 3名(収容定員9名)

学位 博士(看護学)

標準修業年限 3年(最大在学年数6年)

教育理念

博士後期課程では、建学の精神や博士前期課程の理念等を踏まえ、
 高い倫理観と高度な教育・研究能力を備え、
 研究活動を通して看護学の発展に寄与する看護系教育機関の教員・研究者
 または、保健医療福祉施設における実践者や管理者として、社会に貢献できる人材を育成する。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

博士後期課程では、教育研究上の目的に基づき、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求める。

1. 看護研究の特徴やプロセスを理解し、看護研究を実施するうえで必要となる研究方法論全般についての基本的能力を有する者
2. 看護教育および看護実践において活用される主な教育・学習理論と概念について理解し、対象に応じた高い教育能力を有する者
3. グローバルな視点を持って常に世の中で起こることに課題意識や関心を持ち、高い倫理観のもとで看護研究者・看護教育者・高度専門職業人として社会や看護学の発展に貢献する熱意がある者

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

博士後期課程は、地域で暮らす人々を支援する看護ケアを開発し実践に応用できる革新的研究能力や、学際的・国際的な視点を持ちながら人や組織と連携して共同開発ができる卓越した教育能力を有する教育研究者を育成することができる教育課程を編成する。以下に、具体的な教育課程の編成方針を示す。

1. コミュニティ・ケアシステム領域として看護ケア・教育学分野、看護情報学分野、高齢者高度実践看護学分野、地域看護学分野、医療看護領域として看護サービスイノベーション分野、精神健康看護学分野、成育看護領域として小児看護学分野、母性看護学分野を設ける。
2. カリキュラムは、看護学の学術的発展を担うための基盤的能力を養う「共通科目」、各専門分野における学識を深める「専門科目」、新しいエビデンスが創造できる高度な研究能力の獲得のための看護学特別研究を含む「演習・研究科目」で編成する。
3. コミュニティ・オブ・プラクティスの考え方をを用いて、看護実践の知を創り出す研究者コミュニティを形成し、広範な看護課題や国内外の健康問題を解決するための能力を養う。
4. 地域で暮らす人々の健やかな生活を支えるためのコミュニティ・ケアシステムの開発や革新的な看護ケアを生み出すことができる研究能力を養う。
5. 看護の成果を教育や政策・制度へ繋げていくことで、価値の高い看護サービスを開発する能力を養うための科目を配置する。
6. 看護学の学術的発展に貢献できる次世代を育てる卓越した教育能力を修得するための科目を配置する。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

博士後期課程の学位授与の方針は、教育研究上の目的に基づき、次のような能力を身につけ、修了に必要な単位を修得し、博士論文の審査及び試験に合格した者に「博士(看護学)」の学位を授与する。

1. 看護・医療を取り巻く社会情勢の変化を見越した、革新的な看護ケアやコミュニティ・ケアシステムを生み出すことができる高度な水準の研究能力を修得している。
2. 次世代の看護を担う人材を育成するための、卓越した教育能力を修得している。
3. 看護における諸課題を探究し、解決に向けて総合的に思考し判断できる、高度な問題解決能力を修得している。
4. 看護の教育研究者として、高い倫理観を備え、学際的かつ国際的な視点で物事や現象を捉える能力を修得している。